文部科学省

交流採用（ 民間企業 → 国 ）

①　府省・業務内容のＰＲ

当省は、政府として地震に関する調査研究を一元的に推進するために設置された特別の機関「地震調査研究推進本部」が設置され、地震調査研究に係る最先端の観測結果や研究成果の集約・分析及び総合的な評価等を行っています。特に直近では、学術だけでなく民間利用も期待される評価結果等の公表も進められており、これらの推進に当たっては民間の知見活用が重要であることから、民間企業における豊富な業務経験をお持ちの方を交流採用したいと考えています。

②　交流採用を行いたい役職段階、経験年数、採用予定時期

係長・専門職級（３０～４０歳程度）１名（令和７年４月採用予定）

採用の時期は令和７年４月を基本としておりますが、御相談に応じます。

③　交流採用を行いたいポジション及び職務内容

研究開発局地震火山防災研究課において、地震調査研究推進本部の事務局として、地震調査研究に関する専門的な評価・分析・情報収集及び審議等に関する職務を担当していただくことを考えています。

④　今回募集するポストに必要な能力・経験等

上記職務の遂行に当たっては、地震学や土木工学、建築学に関する理学又は工学的知識を有し、土木、建築等の業務について、研究者・技術者及び企画運営等に係る管理者として従事した経験がある方を求めております。

〔担当者〕

氏　名：相浦　啓司

所　属：大臣官房人事課任用班任用第二係

連絡先：03-5253-4111（内3428）

文部科学省

交流採用（ 民間企業 → 国 ）

①　府省・業務内容のＰＲ

現在、中央教育審議会において急速な少子化が進行する中での将来社会を見据えた高等教育の在り方が議論されている中で、高等教育の質のさらなる高度化が求められているところです。その中でも、学修者本位の大学教育をより一層推進すべく、法令改正を含めた制度的な見直しや先導的な取組の広報等が必須であり、そのためには個々の大学で行われている教育研究の実態を把握し、今までとは異なる観点から解決策を探ることができる、民間出身者の方の経験が非常に有益であると考えています。

大学教育・入試課では、これまでも交流採用者の受入れ実績があり、交流者にとっても、国の高等教育政策に携わる事は今後のキャリアにも生かせると考えております。

②　交流採用を行いたい役職段階、経験年数、採用予定時期

専門職（３０～４０歳）１名（令和7年４月～採用予定）

③　交流採用を行いたいポジション及び職務内容

高等教育局大学教育・入試課専門職

大学教育の質保証制度関連の企画、立案及び助言を中心に、具体的には、教育課程等に係る特例制度の普及等のため、例えば各大学における事例集の作成やシンポジウム開催、また、学修歴証明書のデジタル化の普及に関する業務に従事していただきます。

④　今回募集するポストに必要な能力・経験等

高等教育に対して、基本的な知識と関心を持ち、前向きに物事に取り組む方を採用したいと考えています。特に、大学における実務経験（教学に係る部署）がある方が望ましいです。

〔担当者〕
氏　名：中田　幸志
所　属：高等教育局大学教育・入試課課長補佐
連絡先：03-5253-4111（内線2524）

文部科学省

交流採用（ 民間企業 → 国 ）

①　府省・業務内容のＰＲ

高等教育政策の立案に関する業務では、地道な調査やデータ収集から、政策そのものの検討に加え、会議の運営実務等、幅広く多様な業務が経験できます。また、常に他の局課と連携して業務を行っており、そうした部署の業務内容を学ぶこともでき、業務に従事することで高等教育の全体像等を知る機会とでき、今後にその経験を活かすことが可能です。

②　交流採用を行いたい役職段階、経験年数、採用予定時期

係長級（３０歳～３５歳）１名（令和７年４月採用予定）

③　交流採用を行いたいポジション及び職務内容

高等教育局高等教育企画課高等教育政策室に配属し、高等教育政策立案に係る審議会等の会議運営業務、及び全国学生調査の制度設計等の職務に就かせることを考えています。

（具体的には、

・中央教育審議会大学分科会等の企画・運営

・「全国学生調査」本格実施に向けた有識者会議の運営等）

④　今回募集するポストに必要な能力・経験等

高等教育、とりわけ大学・大学院に対し、一定の知識と関心が有ることを求めます。（大学等高等教育機関における勤務経験があれば望ましい。）

〔担当者〕

氏　名：横山　翔

所　属：高等教育企画課

連絡先：03-5253-4111（2479）

文部科学省

交流採用（ 民間企業 → 国 ）

①　府省・業務内容のＰＲ

疾病構造の変化や少子高齢化の進展により、医療・看護をめぐる状況は大きく変化しています。社会からの看護へのニーズは今後ますます多様化し、看護師にはさらなる専門性の発揮が期待されています。

このような中、文部科学省では、これまでコンテンツ基盤型教育を基本にしたカリキュラム構成によって教育の質を保証してきた看護学教育を、社会から求められる卒業時の能力を保証する「コンピテンシー基盤型教育」へ転換するため、令和６年度中に看護学教育モデル・コア・カリキュラムを改訂し、令和７年度以降は看護系大学への改訂コアカリの周知及び看護学教育の「コンピテンシー基盤型教育」推進のための取組を進める予定です。またあわせて、平成３年の１１校から令和６年には２８６校に激増した看護系大学の質保証や、評価の在り方等についての検討も必要となっています。これらの推進に当たっては看護系大学において教育研究に従事し、看護系大学等の実態を熟知している方の知見が非常に重要であることから、看護学教育や研究に携わり、看護学教育に豊富な経験をお持ちの方を交流採用したいと考えております。

②　交流採用を行いたい役職段階、経験年数、採用予定時期

課長補佐級（４０歳～５０歳程度）１名（令和７年４月採用予定）

③　交流採用を行いたいポジション及び職務内容

高等教育局医学教育課に配属し、看護師、保健師及び助産師の養成のための教育に関する専門的事項についての調査並びに専門的、技術的な指導及び助言等の業務に従事していただくことを考えています。（具体的には、看護系大学等の教育関連施策立案のための専門的知見による情報分析、看護学教育の内容に関する大学等からの相談対応、看護学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂の論点整理及び看護系大学への周知、臨地実習ガイドライン策定等の業務）

④　今回募集するポストに必要な能力・経験等

以下の要件を満たしていること。

・看護学に関する大学院（修士課程）修了以上の者（又は同等の学歴を有する者）
・看護師免許を有し、看護系大学において５年以上の教育研究の経験を有する者

〔担当者〕

氏　名：竹本　浩伸
所　属：高等教育局医学教育課
連絡先：03-5253-4111（3047）